

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業政策課
 担当名：企画・試験研究調整担当
 内線：4035 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P4	アグリテック栽培技術発信拠点事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業研究費	農業技術研究センター費		
事業期間	令和 6年度～ 令和 9年度	根拠 法令			針路 分野施策	12	儲かる農林業の推進	SDGsゴール	2, 9, 13	
						1202	強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	2-3, 2-4, 9-4, 13-	
<p>1 事業概要</p> <p>生産者や企業、県等がそれぞれ保有するデータや情報を収集・分析・共有・活用できる体制を構築する。 また、施設園芸におけるアグリテックを活用した栽培技術の発信拠点の方向性を検討する。</p> <p>ア 協議会の設置・運営事業 執行節減、委員報酬辞退・欠席による減 △1,058千円</p> <p>イ 施設園芸のデジタルイゼーション推進事業 執行節減による減 △115千円</p> <p>ウ アグリテック発信拠点事業 執行節減、リース期間短縮による減 △254千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 協議会の設置・運営事業 2,980千円 イ 施設園芸のデジタルイゼーション推進事業 958千円 ウ アグリテック発信拠点事業 201,277千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア データ活用体制の検討、アグリテック栽培技術の研究の方向性の検討 イ データ活用体制の構築 ウ 部局連携での環境負荷低減に係る研究の実施、旧施設の解体、基本計画の策定</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>アグリテック等の先進技術の研究やその技術を生産者へ還元することで、埼玉農業の競争力強化につながる。 【活動指標(アウトプット)】基本計画の策定、旧施設の解体、データ収集・分析システムの仕様策定 【成果指標(アウトカム)】県農業産出額の向上 (令和12年：16億円増加(キュウリ、トマト、イチゴの合計算出額9%の増))</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>学識経験者、国立研究開発法人(農研機構等)、民間企業等と連携して実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 委員報酬辞退、委員欠席による報償費の減 旅費、消耗品費、使用料賃借料の執行節減による減 イ 旅費、消耗品費の執行節減による減 ウ 消耗品費の執行節減による減、リース期間の短縮による使用料賃借料の減</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		県 債								
決定額	△1,427							△1,427	203,788	
現計額	205,215	163,000						42,215		

事業内訳書

事業名	アグリテック栽培技術発信拠点事業		
単位事業名	協議会の設置・運営事業	予算額	△ 1,058千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,058	—	
合計	△1,058	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△735	—	委員報酬辞退、委員欠席による減
旅費	△255	—	旅費の執行節減による減
需用費	△24	—	消耗品費の執行節減による減
使用料及び賃借料	△44	—	使用料賃借料の執行節減による減
合計	△1,058	—	

単位事業名	施設園芸のデジタルライゼーション推進事業	予算額	△ 115千円
-------	----------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△115	—	
合計	△115	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△103	—	旅費の執行節減による減
需用費	△12	—	消耗品費の執行節減による減
合計	△115	—	

単位事業名	アグリテック発信拠点事業	予算額	△ 254千円
-------	--------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△254	—	
合計	△254	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△98	—	消耗品費の執行節減による減
使用料及び賃借料	△156	—	リース期間の短縮による減
合計	△254	—	